

掛合町松笠地区 澤村藤十郎公演について

Q321

澤村藤十郎丈の公演について、先日も聞きに行ったが、話が難しくよくわからなかった。それよりも、歌舞伎をしてもらった方がわかりやすくてよいのではないか。

A : たしかに、難しいが平家物語の朗読や語り、古典を通して今の子どもたちに美しい日本の言葉を伝えてもらいたいというのがねらいです。澤村藤十郎さんの献身的な努力のおかげで文化庁の事業ともタイアップし、掛合には名馬池月の伝説もあり、素人芝居もあるということで掛合に誘致しました。また、新しい小学校もできて、子どもたちが新しい学校で本物の舞台芸術に触れる機会をつくりました。今度、スーホの白い馬という舞台も行います。これは解りやすいものになっています。狙いは大変難しいですが、何回も回を重ねることで子どもたちの理解も増しています。ぜひ大人の皆さんも開校記念ということで、ご賛同いただければと思います。(教育長)

A : 澤村さんは今度8月16日においでになります。澤村さんが掛合で何かやっているのを聞きつけて、都会の人が掛合に来られます。地元掛合の人は澤村さんとはそんなにすごい人かとカルチャーショックを受けます。また最近、大活躍している三刀屋高校演劇部の生徒が澤村さんの発表に加わるジョイントが計画されています。今後いろいろな形で住民のみなさんと関わりが予定されています。そして、澤村さんのネットワークを通じて、イッセー尾形など普段ではとても来てくれないような方が来てくださることになっています。平家物語だけでなくいろいろな催し物が展開されるので、楽しみにしましょう。(市長)

平成20年度市政懇談会質疑（項目別）まとめ

三刀屋町中野地区 チャレンジデーについて

Q322

チャレンジデーは合併当時、イベントをいろいろ企画され、勝ったこともあるが、最近では参加率も40%そこそこで負けている。マンネリ化もあると思うが、年に1度のことなので市を挙げて市民のやる気を起こさせるような企画をしていただきたい。

A：今年のチャレンジデーは（参加率が）50%に届かず、初めて金メダルが取れませんでした。ご存知のようにこのチャレンジデーは、平成5年に第1回目、日本で初めて参加したのが旧加茂町でした。第2回目に木次町、宍道町。第3回目に三刀屋町も参加されて、チャレンジデーはまさに雲南市が発祥の地と自負しています。

全国で100万人突破した非常に大きなスポーツのイベントになりました。こういった中で参加率が下がったことは非常に残念です。来年は50%台を目指して取り組んでいきたいと思えます。

今年の原因の一つはマンネリ化したというのは否めない事実です。事務局を預かっている教育委員会も合併後、全市的に取り組まなかったのが、来年はぜひ全市に広げて実施したいと思えます。また、集計がきちんと出来ていなかったと感じていますので、来年に向けて周知徹底を図ります。（教育長）

加茂町（中村昭和星野雲並・東谷・砂子原・中村団地・東谷団地）ジャズフェスティバルについて

Q323

今度、商工会青年部でジャズフェスティバルを開催する。商工会青年部は、合併前は先細りだったが合併して元気になった。もっと6町の若者が交流できる場がないか？もっと市の若者の力を信じて欲しい。

A：ジャズフェスティバルについては市も支援します。盛大な祭りをしていただけて景気付けをしていただきたいと思えます。（市長）

加茂町（神宝21・三代下神原・大竹延野）加茂球場の使用について

Q324

加茂の野球場を、夕方、土日とも三洋が使用しておられて、使用することができない。加茂町だけ使用されているのか、他に使用できる場所はないのか。

A：占用的仕様でご不便をお掛けしています。現在、三洋は現在のグラウンド、駐車場を造成して、新工場を10月、秋完成に向けて増設しておられます。

この間、2部リーグに加盟する三洋ソフトボール部は練習場がないため、休日はホシザキのグラウンドを使用され、平日遠征の無い日の夕方は、加茂町のグラウンドを使用しておられると思えます。

いろいろ他の場所も紹介していますが、毎月（練習）場所が変わるのは大変ですので、ナイターが始まるまでには（練習が）終わるようにしておられます。ご理解いただきたいと思えます。（産業振興部）

Q325：[関連質疑]

加茂中学校のソフト部、野球部が球場を共有しており、夕方使えないものかと思ひ発言した。

A：検討いたします。三洋ソフトボール部にも相談します。三洋ソフトボール部は、ソフト競技力向上のため、地元中学校への指導等もしてもらっており、一定のご理解を得て他の場所についても検討します。（産業振興部）